

熟字訓

どんな名刀でも切れぬ「竹刀」

漢字二字以上で構成され、その一字一字の読み方を分けることができないものを、**熟字訓**といいます。

例えば、剣道で使う「竹刀」の読み方は、「し+ない」や「し+ない」と分けることができません。それは「竹刀」という漢字のつながりと、「しない」という和語とが、直接結びついたからなのです。

現在、一般的な社会生活で使用されている熟字訓やあて字（漢字の本来の意味や読み方にとらわれず、音や訓を借りて漢字を用いた表現）については、「常用漢字表」の「付表」に、一一六語あげられています。

その中には、「今日」「明日」「昨日」「一人」「大人」など、毎日の生活で使用される言葉がたくさんあります。確認してみましょう。

また、熟字訓の中には、音読みすることができ

るものも

例

「明日」 ↓ あす ↑ ↓ ミヨウニチ
「昨日」 ↓ きのう ↑ ↓ サクジツ

これらは、同じ意味で熟字訓も音読みも使われていません。また、読み方によって、伝わる感じが変わってくることもあります。

ところが、次にあげる例は、熟字訓と、音読みや他の訓読みとは、意味や用法が異なります。

例

「一日」 ↓ ついたち ↑ ↓ イチニチ
「大人」 ↓ おとな ↑ ↓ タイジン
「今日」 ↓ きょう ↑ ↓ コンニチ
「下手」 ↓ へた ↑ ↓ しもて

目標と振り返り

□ 熟字訓についての理解を深める。

日本語では、言葉を表すために、漢字の使い方をさまざまに工夫しているのです。

練習

1 次の漢字と、それらを組み合わせた言葉の読み方と

意味を確かめよう。

- (1) 老 + 舗 → 老舗
- (2) 弥 + 生 → 弥生
- (3) 伯 + 父 → 伯父
- (4) 乙 + 女 → 乙女
- (5) 為 + 替 → 為替
- (6) 鍛 + 冶 → 鍛冶
- (7) 早 + 苗 → 早苗
- (8) 相 + 撲 → 相撲
- (9) 硫 + 黄 → 硫黄
- (10) 木 + 綿 → 木綿

2 次の——線をつけた言葉の読み方と意味を確かめよ

- (1) 紛糾した事態のなりゆきを、固唾をのんで見守った。
- (2) 明日は朝から時雨になるらしい。
- (3) 吹雪が収まるまで荷物の搬入を待った。

15

10

5

3 次の言葉の読みを確かめ、その中からいくつか選んで、**2**のような短い文を作ってみよう。

- (1) 小豆
- (2) 田舎
- (3) 伯母
- (4) 足袋
- (5) 草履
- (6) 太刀
- (7) 凸凹
- (8) 土産
- (9) 息子
- (10) 最寄り
- (11) 行方
- (12) 早乙女

この教材で学ぶ漢字

乙	伯	弥	舗	為	糾
オツ	ハク	ヤ	ホ	イ	キユウ
甲乙	伯仲	弥生時代	店舗	行為	糾明
硫	撲	冶	為	搬	
リュウ	ボク	ヤ	イ	ハン	
硫酸	撲滅	冶金		搬出	

「付表」の語

老舗 (しにせ)	為替 (かわせ)	固唾 (かたず)	最寄り (もより)
弥生 (やよい)	早苗 (さなえ)	伯母 (おば)	行方 (ゆくえ)
伯父 (おじ)	硫黄 (いおう)	草履 (ぞうり)	早乙女 (さおとめ)
乙女 (おとめ)	木綿 (もめん)	凸凹 (でこぼこ)	